

2009年11月12日

あきる野市長 臼井孝 様

あきる野市議会民主党

清水 晃

中村 雅一

平成22年度予算編成要望について

先の衆議院選挙では、本格的な政権交代が実現し新政権では地方分権(地域主権)の推進と共に伴う財源も国から地方への移譲が図られようとしています。しかし、現実の厳しい地方財政が即解消するかは難しい課題であります。従ってあきる野市についても「長期的な視点」をもった重点化効率的財政運営を基本に介護、医療、教育など市民ニーズにあった予算編成をすべきであります。そこで平成22年度予算編成にあたり我が会派は次のとおり予算要望をいたします。

(1) 行財政運営の改善・充実

- ①(仮称)あきる野市自治基本条例を市民検討委員会最終報告書のとおり早期に制定
- ②市発注事業の質を確保し事業従事者の最低賃金を担保するため「公契約条例」の制定

(2) 福祉・健康・医療の充実

- ①特定健康診査項目に当初から全員対象とした、眼底・貧血・心電図検査
- ②新型インフルエンザ発症の市民への積極的啓発と予防対策
- ③阿伎留病院組合に対し、市として病院経営の健全化を促進
- ④障害者関係予算の増額

(3) 教育環境の充実

- ①学校のプールに温水シャワーの設置
- ②中学校全普通教室に扇風機と特別教室に冷房の設置
- ③小中学校の生徒数に応じた洋式トイレの設置
- ④学校配当予算の増額
- ⑤校舎・体育館を早急に耐震化
- ⑥高齢者の利用も多い学習等供用施設地区会館(千代里・野辺地区会館等)のすべてに洋式トイレとエレベーターの設置及び、バリアフリー化など全面改修
- ⑦戸倉及び小宮分室図書館を児童クラブに引き継ぎ後の利用者サービス維持

- (4) 子育て支援の充実
- ①学童保育の保育時間を夏・冬・春季の学校休業日各々朝 30 分早め、夕方は 30 分延長
 - ②保育園・児童館待機児童早期解消のための大幅定員増
 - ③東秋留保育園の早期建替
 - ④私立保育園の建替・改修工事の補助増額
- (5) 環境施設の充実
- ①市有山林を環境施策・教育施策へ積極的に有効活用又、間伐材利用の予算計上
 - ③「郷土の恵みの森」を含め、「みなと区民の森」(森と水のネットワーク会議)へのより一層の協力、港区へ市有山林貸し出しの拡大
 - ③日影対策補助の増額
 - ④トレイルラン、マウンテンバイク向けのトレイルセンターの設置
 - ⑤ごみ等の不法投棄と自家焼却の禁止を毎年市報で広報
- (6) 交通・安全対策の充実
- ①高齢者等の交通手段を確保するため「るのバス」の台数増、全市的路線の拡充及び、乗降場所の設置増
 - ②自転車運転ルールの周知徹底を図ること及び、駅近辺の駐輪場の駐輪台数の拡充
 - ③武蔵引田駅に上下線ホームの増設等駅施設の改善
- (7) 都市機能(まちづくり)の充実
- ①東京都策定の「多摩シリコンバレー構想」を踏まえた都市基盤整備の推進
 - ②住宅リフォーム補助の復活(多摩産材の積極活用)
 - ③旧秋川高校跡地等利用は広く市民の声を反映させ市民との協働のまちづくり
 - ④地上デジタル放送開始後も旧五日市地区等の難視地域は従来通り市民負担が増えないテレビ受信装置の確保